

## 目標達成計画

作成日: 平成 29 年 4月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	グループホームの理念を作ってから年数が経ち、職員、入居者も変わったので、地域密着ということも視野に入れて作り直した方が良い。	現状に合った理念を自分たちで考え、より良いケアを目指す。	職員がどんなグループホームにしたいか、どんなケアを心掛けると入居者の笑顔が見られるかを考え、理念を自分で作る。職員が話し合い3点に絞り、理事長に決定してもらう。	2ヶ月
2	23	入居者の状態を把握して、ケアプランを立てているが、アセスメント、モニタリングの勉強会を行い、職員全員のレベルアップを行い、介護計画を見直す。	入居者の視点に立ったアセスメントとモニタリングにより本人本位の生活が送れるようにする。	包括的自立支援プログラムを使用し、課題を明確にする。(1か月)課題からケアプラン立案への技法の研修を行う。カンファレンスを1ヶ月に2名ずつ行い、ケアプランを立案する。	6ヶ月
3	35	毎年防災訓練を実施しているが、常に見直し、職員全員が昼夜を問わず入居者がスムーズに避難できる方法を身につけるため。	災害対策を見直し、職員が避難方法を身に付ける。	防災計画を立て、実施する。5月18日大型台風接近に対する自主避難。9月14日夜間火災発生時の消防訓練。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。